

マージンは
上下左右 25mm

論文タイトル

論文題目は 1~2 行目までの
中央に MS ゴシック体 16 ポイ
ント (太字としない) で記入。

映画 英吾 (映画英語大学)

映画 英子 (英語教育大学)

Abstract

日本語の論文であっても、概
要は英語 (約 200 語) で記載。
Times New Roman, 12pt。

Leave one blank line after author names and insert an abstract as follows. Abstracts should be written in 12-pt Times New Roman font and should be about 200 words in length. Use bold font for the word “Abstract” and “keywords”. All abstracts should be written in English. Use a 4-character left and right-side full indent for the abstract and keywords. Indentation should be set to four characters on both the left and right. When setting indentation, do not adjust by repeatedly pressing the space bar on the keyboard; instead, use Word’s ruler function. In accordance with APA standards, the titles of English works should have each individual word beginning with a capital letter with the exception of prepositions (to, with, for, etc.), conjunctions (and, but, or) and articles (a, the). However, even such words should be capitalized when they are more than 4 letters long (e.g. Between). The first word of the title should also be capitalized, regardless of whether or not it is a preposition, conjunction, article, etc. (e.g., The Relationship Between Snacking and Metabolic Syndrome).

日本語で 5 つ以内。

Keywords: キーワード, キーワード, キーワード, キーワード, キー
ワード

イタリック。キーワードそのものはイタリックにしない。

1. はじめに

見出しは、MS ゴシック体 12 ポイント (太字としない)。ナンバリングは算用数字 (半角文字) を使用。小見出しは、1.1, 1.2, 1.2.1 のように数字を増やす。
本文は、MS 明朝体 12 ポイント。

本文段落の最初は全角 1 文字分のインデントをとる。このテンプレートは ATEM ジャーナルに投稿する論文に使用するものである。投稿論文は研究論文、実践報告の別にかかわらず、和文の場合にはこのテンプレートに従い執筆する。本文で使用する言語に関わらず、200 語以内の英文の要約を付けるものとする。要約のあとは 1 行空けて、Keywords はイタリック体になっているが、個々のキーワードはイタリック体にしない。キーワードは 5 つ以内とし、英語で記入する。

句読点は、。に統一。(、としないこと。)ただし、(Kobayashi, 2007) のような場合は、, を用いる。

2. 見出しの書き方

2.1 見出しの1番目と2番目のレベルはMSゴシック体

見出しの1番目と2番目のレベルはMSゴシック体で書くこととする。また各レベルの段落の最初は全角1文字分(ルーラーでは2コマ)のインデントをとる。その際、スペースを使用するのではなく、ルーラー機能を使用する。

2.1.1 見出しレベル3番目のレベルもMSゴシック体

見出しの3番目のレベルはMSゴシックで書くこととする。また本文段落の最初は全角1文字分のインデントをとる。その際、スペースを使用するのではなく、ルーラーの機能を使用する。

3. 記載方法

3.1 本文中の記載

APA 最新版に従って記載する。括弧は全角で記載する。引用文献の列举方法はアルファベット順とする。著者が2名の場合は、山田・吉本(2025)のように中黒・で区切る。3名以上の場合は第一著者名他とする。本文中の直接引用及び間接引用の表記方法については、『付録』を参照。

4. 図表の書き方

4.1 表の書き方

表は通し番号、タイトルを表の上に記載する。表の番号のあと改行しタイトルを記載する。表の縦の罫線は不要である。詳細はAPA最新版を参照すること。数値の記載については、小数点第2位まで記載すること。有意確率(p 値)は小数点第3位まで表記する。表の上下それぞれ一行スペースをいれること。

表 1

テストの検定の結果

| Test | M | SD | t | p |
|--------|-------|-------|-------|------|
| Test 1 | 59.13 | 57.21 | 53.77 | .001 |
| Test 2 | 64.33 | 57.17 | | |

Note. $n = 40$; $M = \text{mean}$

統計に関わる文字はイタリックに。数字はセンタリング。

表の縦線は不要。

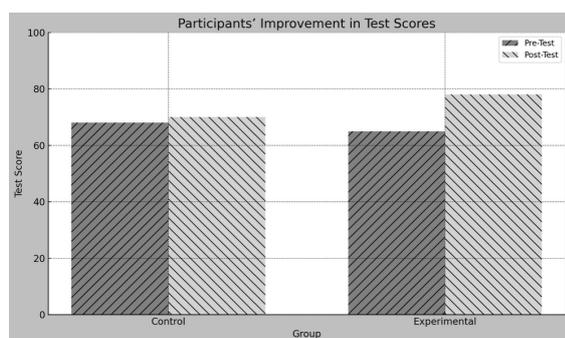
表番号から改行してタイトルを記載する。いずれもMSゴシック(太字にしない)。

4.2 図の書き方

図も通し番号、タイトルを図の上に記載する。図の番号のあとに改行してタイトルを記載する。図の上下それぞれ1行スペースをいれること。

図1
シミュレーションの結果

図番号から改行してタイトルを記載する。いずれもMSゴシック(太字にしない)。図の上にタイトル表記。



5. 匿名性

本文中で著者が特定できるような書き方はせず、「著者(2025)」のように記載し、文献リストは通常の五十音順で詳細を伏せる。

6. 文献の確認と順序

参考文献の記載については、本文中と一覧の情報に不一致がないようにする。日本語文献と英語文献は分けて記載すること。英語はアルファベット順、日本語はあいうえお順に記載すること。ハンギングインデント(改行とスペースを使用しない)を用いる。英語のタイトルはセンテンス・ケース。雑誌名と巻はイタリック、号は()内で非イタリック。DOIがあれば <https://doi.org/形式>を記す。DOIがない場合のみURLを記す。

謝辞

本文最後の行から1行あけ、謝辞、注、参考文献、資料の順で記入。項目間は1行あけ、見出しはすべてMSゴシック体(太字としない)。

投稿時は個人が特定されるような記載を避ける。

注

1. 注は本文と謝辞のあとにまとめて記載する。
2. 本文中は右肩上付き¹で表記する。

参考文献

最初の単語と固有名詞以外は小文字表記。

Kahneman, D., & Tversky, A. (1979). Prospect theory: An analysis of decision under

- risk. *Economica*, 76(307), 2307/1914185. 同じ著者の場合は年順に並べる。年がわからない場合 (n.d.)は一番最初。
- Kahneman, D., & Tversky, A. (1984). Choices, values, and frames. *American Psychologist*, 39(4), 341–350. <https://doi.org/10.1037/0003-066X.39.4.341>
- Kimppa, L. (2017). *Rapid formation and activation of lexical memory traces in human neocortex*. [Unpublished doctoral dissertation]. University of Helsinki.
- Marshall, P. (Director). (1992). *A league of their own* [Film]. Columbia Pictures. 映画タイトル(イタリック)の直後に[Film]として映画であることを明示する。ピリオドは[Film]の後につける。 映画会社名を記す。
- Munro, M. J. (2018). Dimensions of pronunciation. In O. Kang, R. I. Thomson, & J. M. Murphy (Eds.), *The Routledge handbook of contemporary English pronunciation* (pp. 413–431). Routledge. 書籍のタイトルはイタリック。書籍中の該当論文のページ数を()で記載。
- Ryan, R. M., & Deci, E. L. (2000a). Intrinsic and extrinsic motivations: Classic definitions and new directions. *Contemporary Educational Psychology*, 25(1), 54–67. <https://doi.org/10.1006/ceps.1999.1001> 同一著者が同じ年に複数ある場合タイトルのアルファベット順で配列し、年の後ろに a, b を付ける。本文内引用も a/b を対
- Ryan, R. M., & Deci, E. L. (2000b). Self-determination theory and the facilitation of intrinsic motivation, social development, and well-being. *American Psychologist*, 55(1), 68–78. <https://doi.org/10.1037/0003-066X.55.1.68>
- Saito, K., Trofimovich, P., & Isaacs, T. (2016). Second language speech comprehensibility: Effects of learner-specific factors and teaching experience. *Applied Psycholinguistics*, 37(2), 217–240. 誌名と巻はイタリック、号は丸括弧・非イタリック。 <https://doi.org/10.1017/S0142716414000502>
- DOIがあれば <https://doi.org/>形式を記載。DOIがない場合のみ URL。
- UNESCO. (2023). *2023 Global education monitoring report: Technology in education—A tool on whose terms?* <https://gem-report-2023.unesco.org/> インターネットアドレスで終わる場合ピリオドなし。それ以外必要。
- van Ek, J. A., & Trim, J. L. M. (1993). *Threshold level 1990*. Council of Europe Press.
- Wilkins, D.A. (1976). *Notional syllabuses*. Oxford University Press.
- 天沼えり子. (1996). 「映画を使った英語の授業計画」. 『映画英語教育研究』, 第2号, 70-73. ピリオドの後は半角スペース1個分あける。
- 井上博樹・奥村晴彦・中田平. (2006). 『Moodle 入門：オープンソースで構築するeラーニングシステム』. 海文堂. 各項目の最後にピリオド。書名は二重鉤括弧『』。
- 山田健太 (2013). CEFR-J のディスクリプタ設計. 投野 由紀夫 (編) 『CAN-DO リスト作成・活用 英語到達度指標 CEFR-J ガイドブック』 (pp. 123–140). 大修館書店. 書籍のタイトル二重鉤括弧。書籍中の該当論文のページ数を()で記載。

付録

本文中の引用

1. 直接引用例

- 田中・斎藤（1995）は、「学習者の動機づけ効果は高いが、リスニング能力に関する統計的データは明らかにされなかった」（p. 28）と報告している。
- 「学習者の動機づけ効果は高いが、リスニング能力に関する統計的データは明らかにされなかった」（田中・斎藤，1995，p. 28）。

句点は（ ）の後に付ける。

- 2名：著者名を「・」でつなぐ。
- 引用箇所は括弧「」で表記。
- ページ番号は「p. 28」のように英語表記。

2. 間接引用例

- 山田 他（2025）は、映画教材が学習者の理解を促進すると指摘している。
- 映画教材が学習者の理解を促進すると指摘されている（山田 他，2025）。

- 3名以上：第一著者名＋「他」。
- 最初の引用から第一著者名＋「他」と記載する。

3. 複数文献の引用例

- 日本ではさまざまな研究者がこの点を指摘している（小林，1998；和田，2000）。
- 小林（1998）と和田（2000）は日本におけるこれらの課題を指摘している。

- 複数文献は五十音順に並べる。
- セミコロン（；）で区切る。
- 本文中は「と」でつなげる

4. ウェブサイトなどで発表年が不明な場合

- American Psychological Association (n.d.) によれば、学術論文では一貫した引用スタイルを用いることが推奨されている。

年が不明な場合は (n. d.) (no date) を使用。

5. 著者が存在しない場合

- 『第二言語習得の手引き』（2005）は、学習者の年齢が言語習得に影響を及ぼすことを示している。

- 著者名の代わりにタイトル名。
- 二重鉤括弧をつける。